

◎ニゾラールクリーム [外]

【重要度】 【一般製剤名】 ケトコナゾール (U) Ketoconazole 【分類】 抗真菌剤

【単位】 ◎10g/本 [2%]

【用法】 ■白癬, 皮膚カンジダ症, 癬風に対しては1日1回塗布 ■脂漏性皮膚炎に対しては1日2回患部に塗布

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【特徴】 イミダゾール系抗真菌剤でエルゴステロール生合成阻害作用を介して真菌の細胞膜を障害することにより作用を示す。ケラチンに高い親和性を有するため角質内における貯留性が高く, 1日1回の塗布での治療が可能。白癬にはルリコナゾールやラノコナゾールの方が効果が高い。

【主な副作用・毒性】 接触皮膚炎, 発赤, 刺激感, 紅斑, 掻痒, 亀裂, 水疱, 疼痛など

【吸収】 皮膚からは吸収されない (U)

【F】 76% [po] (14) 制酸剤やH2拮抗薬投与などによる低クロル血症時にはFは低下する (13)

【tmax】 1~3hr (13) 【Cmax】 200mgを経口投与し, 定常状態に達したCmaxは3.2μM, 平均定常状態濃度は0.51μM (13)

【代謝】 肝代謝。代謝物には抗真菌活性はない (1) CYP3A4でイミダゾール環の酸化, 開裂により代謝 [po] (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率3% (14) 1%以下 (13) 13% (12) 0.01%未満 [外用] (1) 【CL】 8.4mL/min/kg (13)

【t1/2】 3.3hr, 健常者のデータでは投与量増加・繰り返し投与によりt1/2が延長する (13) 8hr (14) 1.5~3.3hr (12) 【腎不全患者のt1/2】 3.3hr (12)

【蛋白結合率】 98.9% (1) 99.2% (13) 99% (12)

【Vd】 2.4L/kg (13) 1.9~3.6L/kg (12)

【MW】 531.43

【透析性】 ほとんど吸収されないのが該当しないが, 物性としては透析されない (5)

【OW係数】 LogP=3.78 [1-オクタノール水系] (1) 【pKa】 3.03, 6.19 (1)

【相互作用】 経皮吸収はほとんどないが, 損傷皮膚からの吸収には注意 (5) ワルファリンの効果増強に関連した可能性 (豊田真史, 他: 医療薬学 50: 339-344, 2024)

【更新日】 20241026

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。